

平成22年 名張市 消防白書



救急
・
救助

救急搬送人員は前年比93人増

平成22年中の救急出動件数は2,949件(前年比+95件)。1日あたり、平均8件救急出動したことになります。搬送人員は全体で2,838人(前年比+93人)となりました。

事故種別ごとの救急出動件数は、急病が1,907件と最も多く、次いで一般負傷の371件、交通事故の299件となっています。

一方、平成22年中の救助出動は27件(前年比-12件)で、13人を救助しました。

救急出動状況

種別	急病	一般負傷	交通事故	その他	合計
出動件数	1,907件	371件	299件	372件	2,949件
搬送人員	1,793人	357人	339人	349人	2,838人

※その他とは転院搬送、労働災害などです。

救助出動状況

種別	火災	水難事故	自然災害	交通事故	その他	合計
出動件数	0件	3件	0件	14件	10件	27件
救助人員	0人	0人	0人	7人	6人	13人

※その他とは機械による事故、自損行為などです。

☎ 名張消防署 ☎ 63-0999



火災

「こんろ」による火災が6件でトップ

火災発生状況

建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合計
16件	0件	4件	3件	23件

※その他火災とは、空き地や田畑などで発生した火災です。

市内では、平成22年中に23件(前年比+5件)の火災が発生しました。「建物火災」が最も多く、16件となり、うち「住宅火災」が11件と非常に高い割合を占めています。

原因別にみると、「こんろ」による火災が6件で最も多く、住宅火災の半数以上は「こんろ」が原因となっています。

火災による死者は1人、負傷者は2人。火災による年間の損害額は692万3,000円となりました。

☎ 消防本部予防室 ☎ 63-1412



救急車は次のような場合に呼んでください

- (1) 意識がない(呼びかけ、体に触れても気がつかない)
- (2) 胸や呼吸が苦しい(急な胸の痛み、呼吸困難)
- (3) 頭痛が激しい(経験したことのない激しい痛み)
- (4) 動き・話しぶりが(身体の麻痺や言語障害がある)

※その他、ケガによる多量出血、骨折、やけど、普段と様子が違う、体を動かせず救急車以外で搬送できないなどの場合



増加する救急搬送人員

市内の救急搬送人員は年々増加傾向にあり、ここ10年で700人以上増えています。また、救急輸番体制の下、搬送距離・時間が伸びている状況です。そんな中、市消防本部では、一人でも多くの命を救うために、医師の指示の下、高度な

消防本部消防救急室 ☎ 63-5990

救急救命措置を行える救急救命士を計画的に養成し、その活動に必要な資機材を装備した高規格救急車を配備しています。一方、昨年、救急搬送された人の半数以上が、入院の必要のない「軽症者」でした。市消防本部では4台の高規格救急車を運用していますが、全て出動してしまうこともあります。「救急車

で行けばすぐに診てもらえるだろう」といった安易な救急車の利用が重なれば、生命の危険がある重症患者を待たせてしまう恐れがあります。さらに、安易に二次救急にかかってしまうと、医師の負担にもつながり、伊賀地域の二次救急医療体制を危うくさせてしまいます。確かに、入院が必要になるほどの症状かどうかの判断は難しいのは事実です。そのため、持病や気になる症状がある場合は、事前にかかりつけ医に相談しておくなど、普段から救急のかかり方を気にかけておいてください。

救急車の適正利用に、 ご協力をお願いします

昨年中は、名張市民の29人に1人を救急搬送—

名張市立病院だより

きらり

No.15

発行/名張市立病院
 〒518-0481
 三重県名張市百合が丘西1-178
 ☎0595-61-1100(代表)
 ㊚0595-64-7999
 ㊚hp-somu@city.nabari.mie.jp
 名張市立病院 検索



伊賀地域の二次救急 医療を守るために

市立病院院長 伊藤 宏雄



初期臨床研修義務化に伴い研修医の意識が変化し、大学の医局に入る医師が減少。そのため、大学から派遣されていた医師の引き上げが始まりました。伊賀地域では、潜在的な勤務医不足が具現化し、二次救急を維持することが難しくなってきました。

そこで、平成20年4月から、問題を抱えながらも、名張市立病院47%、上野総合市民病院28%、岡波総合病院25%の割合で3病院が輪番で二次救急を実施することになりました。

しかし、平成22年4月、上野総合市民病院の内科医師が減少したことから、輪番を続けることが非常に困難な状況になっていきました。そこで、少ないマンパワーを効率的に活用するために上野総合市民病院と名張市立病院の二次救急機能の集約化を進めてきましたが、医師の確保が困難となり実現しませんでした。

結果的に、引き続き輪番体制を続けることになりましたが、名張市立病院は、それまでの比率より多い50%を、岡波総合病院は以前と同じ25%を、上野総合市民病院も25%を担うものの内科入院はできないという変則

的な輪番体制となりました。

その後も、伊賀地域からの内科医師の減少は続き、平成22年10月には名張市立病院の循環器内科の医師が1人減少したため、名張市立病院の輪番比率を減らそうと考えました。しかし、病院職員から、「市民にとっても50%の輪番を維持していくことが大切だ」という意見が出されました。現在、この50%の輪番を続けていくため、内科系・外科系の医師や病院職員全員が必死に頑張っています。

また、地域再生計画を変更し、公立2病院が専門性を生かした特色ある病院づくりや、医療の質の向上と医療従事者にとって魅力ある病院づくりを進めることで、医師確保も図りながら、当面の間、伊賀地域の二次救急を維持することになりました。

そのようなことから、本年1月1日付けで、名張市立病院から上野総合市民病院へ2人の外科医師が異動となったところで

今後は、伊賀地域の二次救急医療を維持していくためにも、医師確保を最優先の課題として、病院職員の疲弊を防ぎ、医療環境の改善を進めなければならぬと考えています。

地域医療を支える さまざまな スタッフの思いをご紹介します

脳神経外科医師 横田 浩

名張市立病院に赴任して約1年半になります。地域医療の問題点を実感しつつ診療に携わっております。

当面の課題は、当たり前の事を当たり前にする(できるように)ことです。これは、簡単なように聞こえるかもしれませんが難しいこと

初期研修医 呂 国棟

昨年の11月から名張市立病院で初期研修させていただいています。出身は中国黒竜江省で、同省のハルビン医科大学を卒業しました。

将来、内科医師になることを目指し、昨年4月から10月まで大阪南部の病院で研修していましたが、内科症例の少ない病院でしたので、救急の数も多く、内科の疾患もかなり幅広く診ることができ、市立病院で、11月からお世話になることになりました。

大学を卒業した半年後に来日した私は、日本の医師国家試験受験資格があるのを知らずに、何年間も他分野での研究と仕事に従事してきました。そのため、新たに医師として再出発することにしました。

市立病院に来てから、優しい指導医の先生たちとよく働く看護師たちに恵まれ、充実した臨床研修をさせていただいております。これから、伊賀地域の医療に少しでも役に立ちたいと考えています。

医療ソーシャルワーカー(MSW) 田邊 有紀

昨年の4月から、市立病院に社会福祉士の資格を有した「医療ソーシャルワーカー(MSW)」として採用され、患者さまやご家族さまからの各種相談業務を承っております。MSWは、患者さまが地域や家庭で自立した生活ができるよう、社会福祉の立場から、患者さまやご家族さまの抱える心理的・社会的な問題の解決・調整



を援助し、社会復帰の促進を図る専門職と位置づけられています。まだまだ未熟な新人MSWですが、患者さまの退院援助や社会復帰援助の相談に精一杯頑張りたいと思っています。

医師確保に向けた新たな動き

関西医科大学に名張市の「寄附講座」を設置

**小児の発達支援を対象とした
外来を、市立病院に開設予定**

市は、医師を確保し、発達障害児に対する支援や療育に対応していくため、関西医科大学に名張市の「寄附講座」を開設。同大から発達障害の専門医の派遣を受け、4月より、市立病院に週1回の「発達支援外来」を開設する予定です。

調印式で同大の金子一成教授は、「発達障害がある子どもは移動も大変なので、皆さんの生活圏で療育を進めていけることが魅力です。また、発達障害児が増加しているとも言われており、発達障害の

調査研究を進めていくことが大切。公開講座なども開催したい」と話されました。

今後、同大学から市立病院に派遣されている小児科医師とも連携し、小児医療の充実を図るとともに、来年度中に開設予定の「(仮称)子ども発達支援センター」の整備や運営にも支援いただきます。

なお、寄附講座の設置期間は1月12日から平成26年3月31日までで、寄付金額は4,000万円。現在、市では、他大学とも寄附講座の開設について協議中です。



名張市と関西医科大学は、1月12日、寄附講座開設の協定を締結しました。写真は、調印後に握手する関西医科大学の金子一成教授(右)と亀井利克市長(左)

■**発達障害とは**…「いつまでも落ち着きがない」「コミュニケーションがうまくとれない」などの原因として、脳の機能などがうまく働かない場合があります。これは発達障害と呼ばれ、療育などにより改善することができるとされています。

■**寄附講座とは**…大学などが行政や民間企業から受けた寄付を活用し、研究や調査を進めるシステム

外来診療担当表

平成23年1月1日現在

		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科 ・ 循環器内科	第1診	伊藤		●伊藤		●谷村		谷村		伊藤	
	第2診	泉		常岡		●吉田		●泉		泉	
	第3診	●山中				山中		山中		岡本	
	第4診	●北村				我山		吉田		●常岡	
	第5診	●常岡		循環器内科医師(※1)				●矢野		我山	
腎臓内科					堅村						
神経内科								佐々木良元			
泌尿器科		西川									
糖尿病外来										佐々木良磨	
小児科	第1診	●須藤博明	須藤博明 (予約外来)	●今井	岡本 (予防接種)	●須藤博明	須藤博明 (乳児検診)	●岡本	岡本 (外来14時~16時)	●今井	今井 (予約外来)
	第2診	須藤京子 (アレルギー外来)	須藤京子 (アレルギー外来)	須藤京子	今井 (予約外来)		須藤京子 (アレルギー外来)				
外科	第1診	●久保田		●坪内		坪内(※2)		●坪内		●坪内	
	第2診	坪内				竹内				久保田	
	第3診	寺邊								浦田	
整形外科	第1診	●園田		●内藤		●内藤		●松村		●園田	
	第2診	松村		園田		松村		園田		内藤	
脳神経外科		●井田		●井田		●横田				●井田	
眼科		●生杉		●生杉	生杉	●生杉	生杉	●生杉	生杉	●生杉	

●…初診外来 (※1)…ペースメーカー外来(1・4・7・10月の第3週のみ) (※2)…水曜日の外科初診は休止となります(2月から)

受付時間

<予約のない人> 受付時間 午前8時30分~午前11時30分

- 内科、循環器内科、腎臓内科、泌尿器科、糖尿病外来は、医師の紹介状をご持参ください。
- 神経内科については、事前予約を必要とする完全予約制となります。
- 小児科のみ木曜日午後1時30分~午後4時も受付

<予約のある人> 午前8時から予約終了時刻まで



保険証などは

保険証・医療証などは、月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。

次号予告 消防団員募集

昨年、仕事を終え帰宅するた
め自動車に乗り込もうとした時の
ことです。

「許せない」という憤りもあり
ましたが、それ以上に「だれが、
何のために？」「だ
れかに恨まれてい
るのか？」「エス
カレットしないだ
ろうか？」「子ど
もや家族は大丈夫
だろうか？」と、
次々に恐怖感がお
そいかかってきた
のです。

「許せない」という憤りもあり
ましたが、それ以上に「だれが、
何のために？」「だ
れかに恨まれてい
るのか？」「エス
カレットしないだ
ろうか？」「子ど
もや家族は大丈夫
だろうか？」と、
次々に恐怖感がお
そいかかってきた
のです。

「落書きは消しても…」



警察署へ被害届
を出して帰宅し、
妻と子どもにも状況を説明しまし
た。家族に不安を与えないように
、毅然と振舞ったつもりでしたが、
その後数日間、気がつけば「傷だ
らけのドア」が頭に浮かんでいる
状態でした。

「許せない」という憤りもあり
ましたが、それ以上に「だれが、
何のために？」「だ
れかに恨まれてい
るのか？」「エス
カレットしないだ
ろうか？」「子ど
もや家族は大丈夫
だろうか？」と、
次々に恐怖感がお
そいかかってきた
のです。

「許せない」という憤りもあり
ましたが、それ以上に「だれが、
何のために？」「だ
れかに恨まれてい
るのか？」「エス
カレットしないだ
ろうか？」「子ど
もや家族は大丈夫
だろうか？」と、
次々に恐怖感がお
そいかかってきた
のです。



～人権尊重をくらしのなかに～
ご意見・ご感想は人権啓発室(☎63-7909)へ

子ども支援センターかがやきへ行こう!
開館時間 午前9時30分
～午後5時 ※日・月曜
日、祝日(月曜日が祝日
のときは翌日休館)、年
末年始は休館
▼親子で遊ぼう ☆企画
パパママによる「不用品
交換会」…2月2日(日)午
前10時45分～ ※前日
までにかがやき
へ要申込(先着40組)。当日は、交換で
きる品物(3品以内/食料品以外)を持参
☎ 子ども支援センターかがやき
(桔梗が丘西3) ☎67-0250

リバーナホール催物
[ジャスコ新名張店3階]
☎ 商工観光室 ☎63-7648
■名張桔梗丘高校美術部卒業制作展
日時 2月2日(日)～6日(木)
午前10時～午後6時(最終日は5時まで)
主催 名張桔梗丘高校美術部
■新春チャリティー展
日時 2月10日(日)～13日(水) 午前10時～午後6
時(初日は正午から最終日は5時まで)
主催 名張市美術作家協会
■名張高校美術部展
日時 2月16日(日)～20日(木)
午前10時～午後6時(最終日は4時まで)
主催 名張高校美術部

「伊賀一ノ井松明調進行事」
参加者募集
☎ 春を呼ぶ会 ☎63-9148
日時 3月12日(土) 午前5時20分に名張
市役所正面バス停留所に集合 ※朝食の
もてなしあり。午前11時ごろ東大寺に
て解散。帰りは、午後2時にバスが出発
参加費 3,000円 定員 120人 ※山道
を含め10km程度歩ける人
申込 2月1日(日)から28日(日)(必着)までに、
ファクス(63-9138)か、はがきに、住所、
氏名、年齢、電話番号を書いて、「春を呼ぶ
会」(〒518-0729 南町822-2 産業振
興センターアスピア 名張市観光協会内)へ

講演会「名張市史第1巻資料編を古く読む」(第3回) 日時 2月2日(水)午後6時30分
場所 市民情報交流センター 演題 名張の中世城館 名張市史編さん担当 ☎64-2249

ようかえびす 八日戎で千人鍋を 日時 2月7日(日) 午後1時ごろ～(なくなり次第終了)
えびす 振舞います 場所 蛭子神社前(鍛冶町) ☎ 名張市観光協会 ☎63-9087
◎2月7日・8日又は蛭子神社周辺で交通規制されます。公共交通機関をご利用ください。

赤目四十八滝キャンプ場 2月 自然素材空間 ちよいまる 情報
☎ 赤目四十八滝キャンプ場 ☎63-9666
○バレンタイン・パウムクーヘン作り体験【要予約】
期間 2月5日(土)～14日(日) 午前10時～午後5時
・プレーン2,000円、バニラ2,200円、オーガニック
クッキー2,500円、チョコレート2,500円
○ちよいまるず・よし笛コンサート 29th. 【無料】
期間 2月26日(土) 午後5時～

伊賀地域救急輪番表 2月 健康福祉政策室 ☎63-7579
実施時間帯
平日 午後5時～翌日午前8時45分
土・日曜日、祝日 午前8時45分～翌日午前8時45分
※平日昼間(午前8時45分～午後5時)は、名張
市立病院で二次救急を実施
受け入れ対象は、重症患者です
◎非当番日は、救急受け入れを行いません。
名張市立病院 ☎61-1100
◆救急車での搬送以外は、必ず事前にご連絡ください。
上野総合市民病院 ☎24-1111
◆開業医または応急診療所の紹介、救急車での搬送の
み受け入れ。内科系救急患者で、入院が必要と判断
された場合、伊賀地域外の二次救急病院へ搬送。
岡波総合病院 ☎21-3135
◆救急車での搬送以外は、必ず事前にご連絡ください。
救急医療情報センター ☎64-1199
24時間体制で受診可能な医療機関を紹介
音声・ファクス案内は…0800-100-1199(無料)
I P電話などは…☎082-250-5620(有料)

名張市立病院小児科二次救急医療体制
時間 曜日 日 月 火 水 木 金 土
時間内 △ ○ ○ ○ ○ ○ △
時間外 △ △ ○ × ○ × △
時間内…午前8時45分～午後5時
時間外…午後5時～翌日午前8時45分
△は、伊賀地域救急輪番表の名張市立病院当
番日に実施。市立病院受入日以外は、救急医
療情報センターへお問い合わせください。
みえ子ども医療ダイヤル
☎#8000
子どもの急な病気やケガなどについての、
小児科医師による電話無料相談
I P電話などは…☎059-232-9955
【受付時間】 午後7時30分～11時30分
☆毎日実施

救急車の適正利用をお願いします。
症状が軽いとき、自分で病院に行けるときなどは利用をお控えください。